

## 平成20年度

### 第5回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成20年11月12日(水) 14:00～15:29
- 2 場 所 保健福祉会館9階 機能回復訓練室
- 3 出席者 委員8名
- 4 議 題 岡山市食育推進計画(素案)について
- 5 主要な意見

- ・今、輸入野菜の残留農薬の問題が大きく取り上げられていると思う。検査体制がどうなっているのか、詳しく書いてほしい。
- ・小学校の給食の状況は。各学校で調理しているのか、外注なのか。(基本的に自校調理方式をとっており、食材は購入の際に一定の検査を行っています)
- ・給食の食材を地産地消で、地元の食材を使うというような取り組みはあるのか。(市内の食材でまか賄いたいのが、大量に必要なとなると賄いきれないという実状があり、市内で賄いきれなければ県内、県内で賄いきれなければ国内という方法をとっています)
- ・学校や病院など、どれくらいが給食会社のようなところにアウトソーシングになっているか、把握されているか(市民病院は4月からアウトソーシングになったが、安全な食材を使ってもらうなどの啓発の取組も検討したい)
- ・献立にあわせた食材の確保が難しいという話があったが、毎回立派な献立でやる必要はないのではないか。粗食の日を取り入れても良いのでは(1週間あたりの摂取カロリーが目安として定められており、それを守ろうとすると毎食、ある程度のボリュームが必要になります)
- ・学校給食は選択制は取り入れられないのか。
- ・素材の分かりにくいような調理法ではなく、農業や、自分たちの食べているものに関心を持つよう、素材のわかるようなものを子どもたちに食べさせて、身近なところで教育してほしい。
- ・見た目がきれいであったり食べやすいものには農薬や薬品が使われているといったことも、知るようになってほしい。(今回の計画の中でも、体験が重要であると位置づけており、農薬の問題等についても体験を通じて食を選択する力を身につけていくことを目標の一つとしています)